

史跡旧島松駅逦所大規模改修事業について

旧島松駅通所主屋耐震補強・保存修理工事について

1 概要

史跡旧島松駅通所は、明治期の交通事情を伝える貴重な遺構であるとともに、中山久蔵による寒地稲作の普及やW・S・クラークによる「青年よ大志を懐け」の名言を残した地として知られる歴史的価値を持つ史跡です。

昭和59年から平成2年までの7か年で実施した保存修理工事から30年以上が経過し、各部分において腐朽が目立ち始めていること、また本建物を将来に引き継いでいくため耐震対策を実施する必要があることから、平成30年に「史跡旧島松駅通所保存活用計画」の策定に着手し、文化庁・道教委の指導のもと、下記のとおり各計画を策定し、それに基づき事業を実施しています。

- | | | |
|------------------------------------|---|-----------|
| ・令和3年10月 「史跡旧島松駅通所保存活用計画」 | } | 計画の方向性づくり |
| ・令和4年3月 「史跡旧島松駅通所整備基本計画」 | | |
| ・令和5年3月 「史跡旧島松駅通所主屋耐震補強・保存修理基本設計書」 | } | 工事の細部を決定 |
| ・令和6年3月 「史跡旧島松駅通所主屋耐震補強・保存修理実施設計」 | | |

※各計画については、学識経験者や市民からなる検討委員会等を組織し策定しました。

※令和6年10月からは、同じく学識経験者や市民からなる「北広島市史跡旧島松駅通所保存活用に関する懇話会」を設置し、報告や意見交換を行いながら現在に至っています。

なお、令和7年に主屋の耐震補強・修理工事が完了した後は、引き続き史跡内の主屋以外の諸要素（見本田、蓮池、庭園など）の整備を進めます。今後のスケジュールとしては、令和8年度に史跡エリア内整備のための実施設計、令和9年度に工事を予定しています。

2 工事に伴うスケジュール

- ・令和6年7月16日～ 工事に伴い駅通所休館
- ・令和6年8月1日 工事開始
- ・令和6年12月下旬 令和6年度作業完了

- ・令和7年4月 令和7年度作業開始
 - ※9月頃 屋根の葺き予定
 - ※11月頃 展示改修（設置）予定
- ・令和7年12月19日 工事完了予定
- ・令和8年4月28日 リニューアルオープン ※オープン前の見学会等も検討中

3 令和6・7年の工事内容

■令和6年度の工事内容

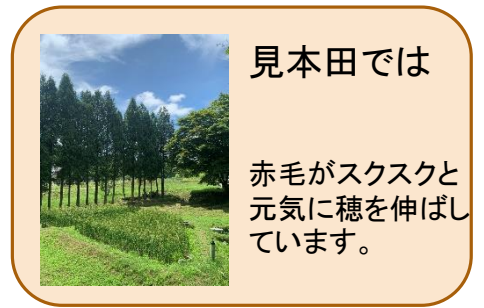
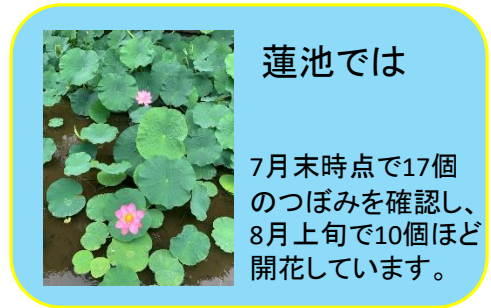
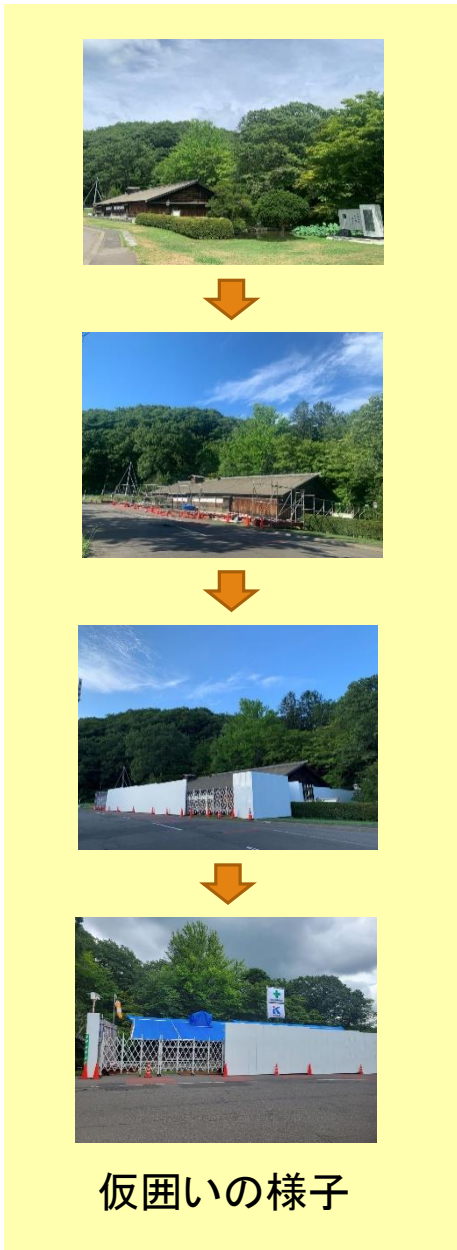
耐震工事として壁面への構造用合板の設置、防災設備工事として屋外の火災報知器、埋設管、ハンドホールの設置、建具の改修工事、屋根の桁材の切り出し等の工場検査 等

■令和7年度の工事内容

耐震工事として屋根部に構造用合板・ブレス等の設置、桁材の葺き替え、防災工事として屋根裏配管の設置、防犯工事として防犯カメラの設置工事、屋根の桁材の加工処理を行う工場検査、建物内部の展示改修 等



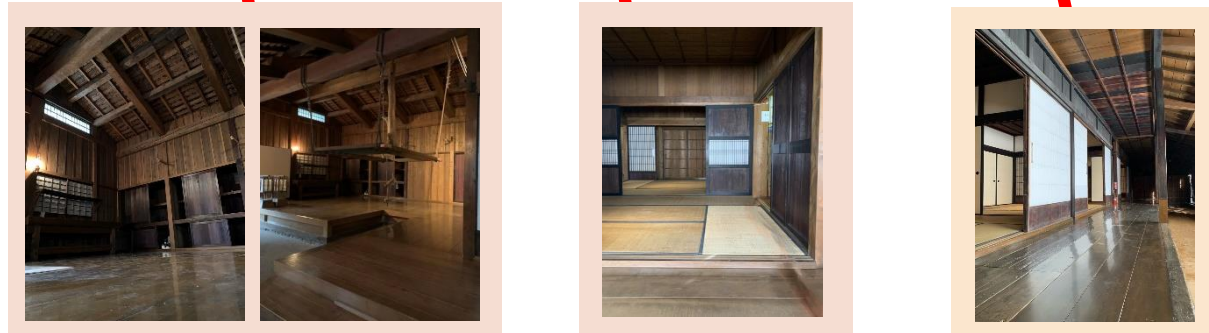
史跡 旧島松駅逦所 現在の様子 (7・8月)



工事仮囲い



1ヶ所のみ工事の様子を見ることができます。



展示資料
資料収蔵室に保管するために
スタッフで7月中にすべて移動しました。

史跡 旧島松駅遷所 現在の様子 (9・10月)

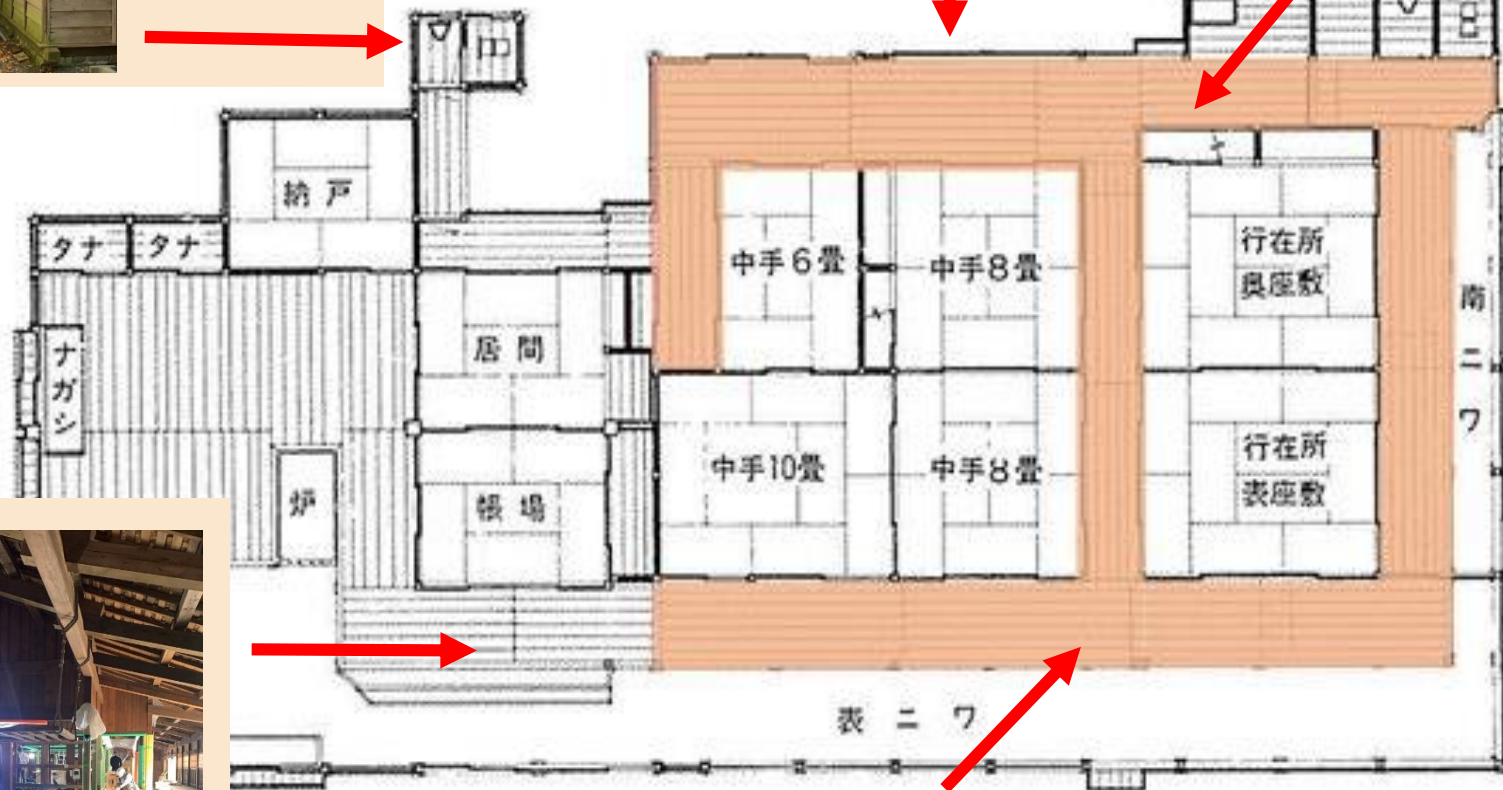
8月～9月上旬
屋内調査に伴う養生



建物を傷つけないように色々なクッション材で保護しています。



一枚ずつ板に番号を付けて、板と板の間に空気ポンプを入れ浮かせて取り外して保管しています。



職人によって丁寧に外された材料は、全てに番号が振られて保管されています。



番号のついた床板材の劣化状況を調査



行在所側の壁材を慎重に外し調査をしています。

工事仮囲い



主屋内の天井材をすべて外して保管しています。

土間や廊下を使い、外された板材は、きれいに汚れをとり、状態を確認しています。



1ヶ所のみ工事の様子を見られる場所があります。

史跡 旧島松駅通所 現在の様子 (11・12月)

駅通所で使われている継手

しゃちつぎて かくしかなわつぎて しほうありつぎ かまつぎて かくしじゅうじつぎて
 ・車知継手 ・隠金輪継手 ・四方蟻継手 ・鎌継手 ・隠十字継手

日本には伝統的な建築技法として「継手」があります。

木材と木材を釘を使わずつなぎ合わせる「継ぎ」という技術で、見た目も美しく仕上がります。



○ 金輪継手 ○ 隠金輪継手

職人は、現場で部材を加工して補修作業をします。



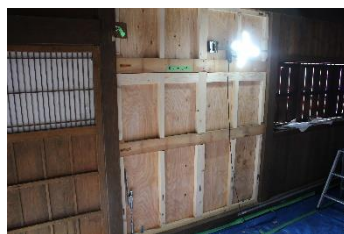
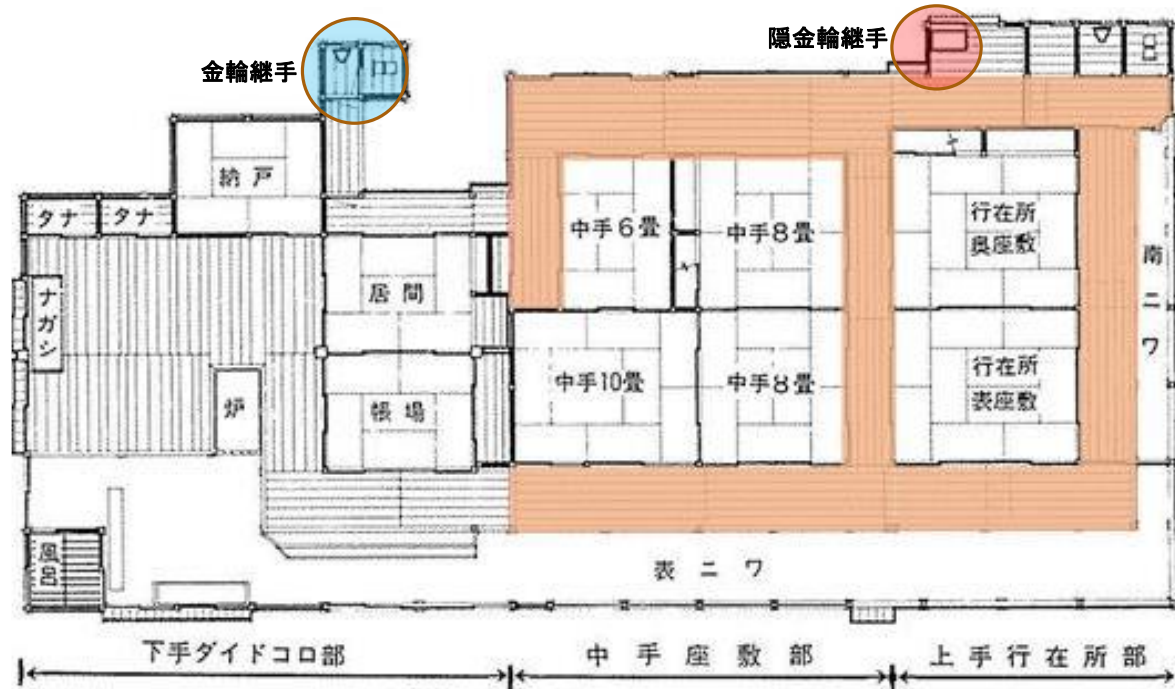
現場で実測し製作した部材には、烙印をしています。



烙印
令和6年度補修



烙印
昭和61・62年度修補



主屋内の耐震補強のために、壁の中には構造用合板を張り再び板材を復旧します。



明治時代と思われる貴重な板材が各所に存在しています。耐震補強後復旧し、そのまま保存をします。

現在、仮囲いは外れていますが、主屋内での作業は、継続しています。

作業環境は???



主屋内はとても冷えるので、外気が入ってこないように、戸を締め切りビニールを張っています。また照明が無い中での作業なので、移動式照明スタンドを置いています。

7月～12月上旬までの仮囲いの様子



仮囲いを撤去した現在の様子(12月10日)



年月日	部長	総括監督員 (課長)	主任監督員 (主査)	監督員 (調査職員)	合議

工事全体工程表

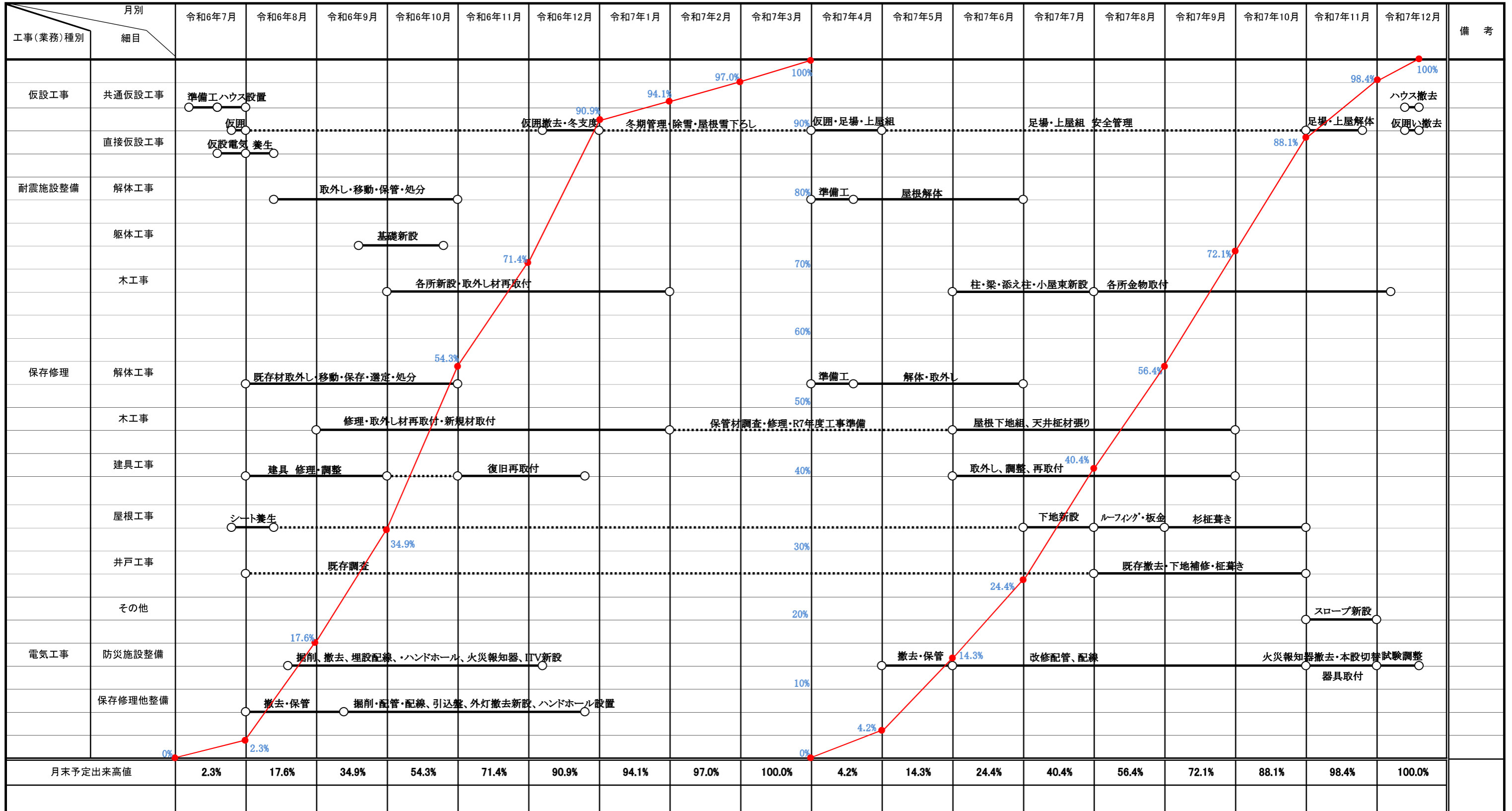
住所 檜山郡江差町字松谷215番
 受注者(受託者) 氏名 亀田工業株式会社
 代表取締役 川合 智

北広島市長 上野 正三 様

工期(履行期間) 2024年 7月 5日 から
 2025年 12月 19日 まで

工事名 史跡旧島松駅通所主屋耐震補強・保存修理工事

上記工事(業務)について次のとおり工程表を作成したので提出します。



(注)変更の場合は、変更前は赤垣とし変更後は黒書きとしてください。